

2008年 1月 27日 (日) 午前 3時 42分 第二子 長女誕生(2880g)

今回は5年振りの出産となりました。

2002年に長男を出産。05年に2度目の妊娠が分かったものの、8週で流産。どうしてもどうしても赤ちゃんが欲しくて、病院へ治療に通いました。1年間投薬やタイミングをはかったりしましたが「授からず」、通院をやめました。

一日もかかえず続けてきた基礎体温の測定もすっぱりやめ、主人と時々晩酌をしたりと、気持ちを楽にしていたのが良かったのでしょうか。07年6月に自然妊娠。嬉しさひとおでしたか不安もいっぱいでした。

流産やその後の通院等、経過を解っている南会津病院ですすは診察を受けました。初めからお産は中嶋助産院で、と決めていたので、すぐに伝えましたが、今回も7週で出血したりということもあり、流産防止の漢方薬、血栓予防の薬も9ヶ月頃まで続け、その後移りましょう、ということに。

長男の妊娠中はとにかくひとかったつわりも、今回は体重が4kg減ったにだけですみ、息子の幼稚園行事等への参加も問題なく、楽しい妊婦生活だったように思います。つわりの症状が違ると性別も違うかも、という話を聞きましたが、今回は病院のエコでも性別を見ないことにしました。楽しみをとっておきたいような気がしたからです。

8ヶ月で貧血になったものの、37週で無事助産院へ。病院を卒業しような気分と、「ああまたここで産める」という喜びと安堵感がありました。

1月23日 38週2日の検診では子宮口に厚みがあるとのことでお産はもう少し先。予定日の2月4日までお腹にいてくれるかなあと思い、まだまだ余裕。

1月26日は朝からなんとなく胃がもたれる感じで、午前中はテレビを見ながらほとんど動かずに過していました。息子はおじいちゃんと電車で若松へ出かけ、主人は風邪気味ということで横になったり。午後はさすがに動かなくなると思い、洗濯をしてその後歩いて買い物へ。歩くと足のつけ根が痛いけど何だろうと思いつつ帰宅しました。夕方息子が帰ってきてから私おし横になりました。

夕飯は簡単にお鍋を作り食べられたものの、足のつけ根にはずっと違和感があります。主人も風邪気味だし、お風呂はお休みにしようと思い、息子を寝かしつけました。そい寝をしているとお腹に張りを感じます。その張りと足の痛みが一緒に来るのです。そこでやっと「これはもしかして!？」と思いました。

それほど強い痛みではなかったので、サッとお風呂に入り、陣痛の間隔を計ってみるとすでに5分間隔。30秒か40秒続く感じだったと思います。それが午後10時頃。息子の時よりもまだそれ程痛くはなかったので様子を見ることに。布団で横になり、リビングで過してり... (寝室が1階、リビングが2階なので何度もウロウロ...)。

さすがに「イタタ...」と言うようになってきたので、午前0時半頃^{助産院へ}電話。部屋を温めるので1時頃からは大丈夫ということで、行く時にまた電話をする事になりました。主人は車の雪をおろけり雪かきをしたり、風邪気味で深夜に活躍してくれました。変な時間に起こされた息子もグズることなく、きちんと着変えて準備万端。痛みはあるけどまだ歩ける。もう少し時間がかかるかなと思っていました。

ところが内診してみるとすでに全開大。息子の時と同じです。息子の時も子宮口が開くまでさほど時間がかからなかったのですが、二人目はもっと楽かも、と思っていたのですが、ここから予想外!! 何度いさんでも赤らんが出てこない... 痛みは増すし、苦しいし、だんだんどうしたらいいのかわからなくなってきました。破水した後もまだ出てこない... 康乃先生の^{赤らんの}心拍をみしてくれます。赤らんも頑張ってる、私があきらめられない! そう思うのにもうダメ、なんていう弱音ばかり言っています。体勢を仰向けから横向きにしたりにりしてもらったりしますが、どうしたらうまく力を入れられるのかわかりません。重さを借りた方が赤らんが下がってくるということで、何とか力をふりしぼって起き上がり、いきみます。何かに寄りかかった方が楽な気がして、吐嗟に主人を呼び、主人に^{の背中}しがみついて、2回か3回目の陣痛で、やっと何かが出てくる! という感覚がしました。

やっと、ほんとうにやっと赤らんが生まれてきてくれました。よかった! よかった! もうこれ

だけです。知りたかんに性別も、この時は本当にどちらでもよくて、生まれてきてくれただけで嬉しくて仕方なかったです。出て来る時の頭の位置がリル前の方だったということ、思いの外大変でしたが、とてもいい経験だったなあと思います。

真夜中にあくびをしながら一緒にいてくれた息子、体調が悪かったのに頑張ってくれた主人に感謝です。

入院生活、あつという間でした。和音も一緒に泊まるのができ、二人でのんびりすることができました。おいしい食事には毎回感激！（家に帰ってからお料理も頑張らなくちゃ）和音の分までごはんやお味噌汁ありがとございました。これからは4人家族、楽しくなりそうです。

康乃先生、千ヨさん、深夜のお産（それも、この寒い時期に！）本当にありがとうございます。体力の必要なお仕事、体に気をつけて頑張ってください。

いっせいくん、むーくん、和音とたくさんあそんでくれてありがとうございます。赤ちゃんにぬいぐるみ持ってきてくれてありがとうございます。とても楽しかったね。

本当に、お世話になりました。

H.20.1.31 弓田 香

昨年、急逝した主人の母から一享おらって「^{かすみ}香純」と名付ける予定です。

和音が「おうちに赤ちゃんが来るように、おばあちゃんにお願いいけんだよ。」

おばあちゃんは神様の近くにいるから、神様に言ってくれたんだね」と言っていました。

義兄、主人と男の子二人を育てた義母。女の子が生まれたので、義母がいたら

きっと喜んでくれたに違いないと思います。義母が見守ってくれているので、この子は元気に育ってくれると思います。